

H29 国際交流学習 (小学校6年)



H30 国際交流学習 (小学校6年)



『May I ask you
some questions?』

『What do you like
to do?』

『Where are you from?』

『Do you know
this Japanese character?』



国際交流学習 (小学校6年)

【6年生感想】

- 身振り手振りを混ぜながら、剣道を紹介することができた。これからも外国の方に日本の文化を伝えたい。
- 将棋を世界に広めたいと思い、将棋の紹介をした。下手な英語の説明にも笑顔で答えてくれ、理解してもらえた。
- 今日の経験を生かして、外国の方に積極的に話しかけられるようにしたい。
- 外国の方が、日本のことをいろいろと知っていることに驚いた。
- 言葉が通じなくてもジェスチャーなどを使えば気持ちが伝わるのが分かり、もっともっと外国人と会話してみたい。
- 笑って話せて、国が違っても伝えたい気持ちがあれば伝えることができることを学んだ。

H30 国際交流学習 (小学校6年)

【昨年の活動と比べて】

- 外国人と話すことに慣れてきたので、あまり緊張することなく話げできた。昨年経験してよかった。
- 昨年より笑顔で、目を合わせて話をするこゝに心掛けるこゝができた。
- 昨年は、なかなか言葉が出なかったが、今年はお自分からたくさん話すこゝができた。
- 昨年は、文書を読むだけだったが、相手に伝わるように笑顔で、ジェスチャーを交えながら楽しくできた。
- 昨年より笑顔で話すこゝができて、とても楽しかった。中学校での英語の学習に向けてもっと練習したい。

H30 国際交流学習 (中学1年)

『Is this your first time
in Japan?』

『Where else in Japan
have you visited?
How was it?』



『What is your favorite
Japanese food?』

『How long will you stay
in Japan?』

H30 国際交流学習 (中学1年)

【中学1年生感想】

- 大きな声で、相手の目も見てスラスラと質問することができてよかった。
- しっかりとスムーズに話ができ、相手に伝わったことがよかった。
- 外国人と触れ合えて、外国人から見た日本という国が分かった。特に、日本食のすばらしさを感じられた。
- 8月にニュージーランドに行ったとき、たくさんの外国人と楽しく会話できるようになりたいと思った。
- 自分から英語を話すことが好きになった。
- 出身国によって、発音に違いがあると感じた。

国際交流学習 成果と課題

《成果》

- 新たなことを取り入れながらの国際交流学習の実践により、外国、外国人、英語に対してより関心をもてる児童が増えた。
- 校外での国際交流学習により、英語圏以外の外国人と関わる機会が生まれ、英語圏以外の国や言葉に関心をもつ児童が見られた。
- 国際交流活動の回数を重ねることにより、外国の方と話をすることに慣れ、堂々と話をする児童が増えた。
- 「おもてなし」という言葉への意識から、外国人と接する際に相手意識へとつながった。
- 職員が多様な国際交流学習の形を取り入れようとする意欲をもつことができた。

国際交流学習 成果と課題

＜課題＞

- 1～4学年の国際交流学習では、外部人材を活用しているが、地域と連携し、人材の確保が必要である。
- 児童数が増加していく中で、外国人との関わりを継続できるよう、状況に応じた修正が必要である。
- 実践により外国や外国人に対して関心を持つ児童は増えたが、次年度は、オリンピックやパラリンピックとより関連付けられる手立てを考えたい。
- 言語の学習に偏らないよう、心をつなげる国際交流学習を目指す必要がある。

伝統文化学習（牛馬作り）

- 本校周辺の水田地帯に伝わる「牛馬作り」を体験
- 講師は、学区内のお年寄り
- 「まこも」という植物を編んだり、組み合わせて



伝統文化学習 (牛馬作り)



伝統文化学習（茶道体験）

- 講師は、外部から茶道の先生を
- 茶道の歴史の講話と所作の体験



伝統文化学習 成果と課題

《成果》

- 日本の伝統文化に触れることにより、外国文化との共通点や相違点について目を向けることができた。
- 外国人に日本の文化を紹介することで、改めて日本の伝統文化のよさに気づくことができた。
- 「牛馬作り」を体験することで、地域の伝統や地域の人々の思いについても触れることができた。

伝統文化学習 成果と課題

《課題》

- 外部人材の活用による効果が顕著であるため、人材の確保が必要である。
- 「牛馬作り」に関しては、講師の方の高齢化や児童の増加に伴う材料確保等について、実施方法の検討が必要である。
- 日本の伝統文化と外国の文化との共通点や相違点についてさらに興味・関心のもてる学習を仕掛けていく必要がある。

ご清聴ありがとうございました。

